

2009年度 『夏休みの友』（福島県教育会館発行）項目と内容

福島県教育会館ホームページURL <http://www.kyouikukaikan.jp/>

福島県立図書館・こどものへや児童図書研究室

児童図書研究室ニュース 号外(2009. 7. 16)

2009年度の小学校および中学校の『夏休みの友』のうち、おもに調べ学習や実践課題について内容・参考情報と詩や国語・読書室でとりあげられている作品の出典などについてまとめました。夏休み中の子どもたちからの問い合わせ・調査相談等にぜひお役立てください。

小学校				
学年	教科	タイトル	内容	参考情報等(「★で紹介している本は福島県立図書館で参考資料としておすすめしている本ですのでお問い合わせは福島県立図書館までどうぞ」)
1年	生活	みつけた はなは どんな いろ	見つけた花に色をぬってみよう。また、みつけた花を書いてみよう。花の名前も書こう。	★『のはらのずかん』長谷川哲雄／作 岩崎書店 ★『野の花道ばたの草』萩原信介／文 たかはしきよし／絵 福音館書店 ★『野山でたのしむ夏の草花』河野玉樹／文 大室君子／絵 さ・え・ら書房
	生活	みんなであそぼう	外に出てみんなで遊ぼう。石けり遊びは全国にいろいろな遊び方があるので、家族やお年寄りに遊び方を教わってみよう。	★『たのしい伝承あそび全集』東陽出版 ★『遊び図鑑 いつでもどこでもだれとでも』奥成達／文 ながたはるみ／絵 福音館書店
	国語	ほんが だいすき	いろいろな本を読もう。	紹介されている本：『はたらきありさん』七尾 純／文 偕成社、『かみであそぼう きる・おる』こすぎ けいこ／さく 福音館書店、『くじらのうた』デイヴィッド・ルーカス／作 偕成社、『へそもち』渡辺茂男／作 福音館書店
	国語	「しっぽのやくめ」	絵を見て、何を書いてあるか考えながら読もう。	「しっぽのやくめ」川田健／文 藪内正幸／絵 出典：光村図書出版 『光村ライブラリー5』より ★『しっぽのはたらき』川田健／著 福音館書店
	生活	「すずめとかえるとたまご」ーあだちのむかしばなしー	おうちの人に読んでもらったり、声に出して読もう。	「すずめとかえるとたまご」 出典：福島県教育委員会／編・発行 『福島県文化財報告書第168集 福島県の昔話と伝説』より「ひと口話」をもとに再編 ※他に紹介されている話 「だんごむこどんーあだちのむかしばなしー」
2年	生活	みぢかな生きものをそだててみよう	ダンゴムシ、アリ、コオロギなどの世話をしてみよう。	★『虫の飼いかた・観察のしかた①～⑥』海野和男ほか／文・写真 偕成社 ★『虫の飼いかたさがしかた』藤丸篤夫ほか／著 福音館書店 ★『ドキドキいっぱい！虫のくらし写真館』全24巻 高家博成／監修 ポプラ社
	生活	なつの はたけは 花ばたけ	はたけに行ってみつけた花が、どんなやさいになるのか見てみよう。	★『野菜とくだもの：かんさつ・さいばいのひみつ』稲永忍ほか／著 講談社 ★『原色 野菜の花』松原茂樹ほか／著 家の光協会
	生活	水でっぽうであそぼう	ペットボトルのふたに、穴を開けただけの簡単な水でっぽうで、友達と楽しく遊びましょう	★『やさしいこうさく第10巻：いろいろないれもののこうさく』竹井史郎／著 小峰書店
	国語	カブトムシのつよさ	一つ一つの言葉に気をつけて読みとってみよう。	★『科学のアルバム カブトムシ』岸田功／著 あかね書房 ★『つのはさみ かぶとむしとくわがたむし』須田孫七／監修 片野隆司／写真撮影 ひさかたチャイルド
	国語	本はともだち	夏休みに読んだ本についてどんなところがおもしろかったか友達に紹介しよう。	紹介されている本：『だれだかわかるかい？』今森光彦／文・写真 福音館書店、『だんごむしそらをとぶ』松岡達英／作 小学館、『フレデリック：ちょっとかわったのねずみのはなし』レオ・レオニ／著 谷川俊太郎／訳 好学社、『言葉図鑑』五味太郎／監修・制作 偕成社、『だいくとおにろく』松居直／再話 赤羽末吉／画 福音館書店、『ぼくはねこのバーニーがだいすきだった』ジュディス＝ポスト／さく エリック＝ブレグバッド／え なかむらたえこ／やく 偕成社
3年	生活	「彦八どんと たぬき」ーこおりやまのむかしばなしー	家の人に読んで聞かせてあげよう。動物の出てくる昔話をさがして読んでみよう。	「彦八どんとたぬきーこおりやまのむかしばなしー」 出典：福島県国語教育研究会／編 『福島のみかし話』日本標準 より(他の動物の出てくる昔話も入っています)
	総合	福島県のきょうどがんぐ	福島県にはいろいろな「郷土玩具」があります。自分の家や夏休みに出かけた場所のおみやげ屋さんや道の駅などで、さがしてみよう。	福島県内のおもな民芸品の紹介：赤べこ・おき上がりこぼし(会津若松市)土湯こけし(福島市)安達太良山のうずら車(二本松市)三春のおめん(郡山市)白河だるま(白河市)相馬土鈴(南相馬市) ★『「郷土玩具」で知る日本人の暮らしと心1～5』くもん出版
	総合	大すきな人にインタビューしよう	身近にいるひとから、インタビューしたい人を決め、聞いてみましょう。	★『コミュニケーションの達人2：インタビュー』菊地省三／監修 フレーベル館 ★『場面でわかる正しいことばづかいと敬語3』田近洵一ほか／監修 くもん出版
	社会	べんりな地図記号	教科書や手引きなどを見て地図記号の問題に答えよう。	★『地図の読みかた遊びかた絵事典』渡辺一夫／文 清水靖夫／監修 PHP研究所 ★『これだけは知っておきたい26 記号・マークの大常識』村越愛策／監修 ポプラ社
	社会	学校のまわりのようす	地図の方角や記号を調べよう。いちばん近くの駅やていりゅう所から家までの道じゅんを書いてみよう。	★『地図情報ものしり百科1～6』田代博／監修 学研
	理科	見つけよう こん虫のすみか こん虫をしらべよう	森や池の近くに出かけ、いろいろな虫をさがしてみよう。	★『昆虫図鑑 いろんな場所の虫さがし』藤丸篤夫／文・写真 福音館書店
	理科	くらべよう 植物のからだ	ヒマワリとエノコログサのからだのつくりをくらべてみましょう。	★『ふしぎ・びっくり！？こども図鑑 新版 第4巻 くさばな』高橋秀男／監修 学研 ★『夏休み植物のかんさつ』石原幸夫／著 あかね書房
	理科	やってみよう 自由けんきゅう～わたしのけんきゅう～	平成20年度郡山市小学校理科作品展に出品された作品を参考に自由研究の進め方を紹介。	★『やってみよう！夏休みの自由研究3・4年生』成美堂出版

3年	国語	「とんぼのひみつ」	内容を正しく読み取ろう。	「とんぼのひみつ」(作者の記載なし) 出典:『平成17年度 学校図書 国語教科書3年上』より
	国語	「海の光」	様子を思いうかべながら読もう。	「海の光」緒島英二／著 出典:『平成17年度 学校図書 国語教科書3年上』より ★『うみのひかり』緒島英二／作 土田義晴／絵 教育画劇
	国語	インタビューをしよう	相手が気持ちよく話せる聞き方、話し方をしよう。	★『コミュニケーションの達人2: インタビュー』菊地省三／監修 フレーベル館 ★『調べ学習の基礎の基礎』赤木かん子／著 ポプラ社 ★『場面でわかる正しいことばづかいと敬語3』田近洵一ほか／監修 くもん出版
	総合	「はたおりとじぞうさま」－会津のむかし話－	家の人たちに読んで聞かせてあげよう。「かさこじぞう」によく似た話です。同じところやちがうところをくらべながら、読みましょう。	「はたおりとじぞうさま」 出典: 福島県教育委員会／編・発行 『福島県文化財報告書第168集 福島県の昔話と伝説』より「地蔵様と爺さまの話」をもとに再編
4年	総合	こんなまとめ方 こんな表し方	この夏休みに体験したり、調べたりしたことを、レポートや手作りアルバム、グラフなどにまとめてみよう。	★『情報名人になろう! 3 あつめた情報をまとめよう!』堀田竜也／絵・監修 汐文社
	総合	地球にやさしい自然のエネルギーを生かす	自然のエネルギーを利用して、電気をつくるいろいろな施設や設備をさがしてみよう。	★『エネルギーを生かす』クリス・オックスレイド／著 ほるぷ出版
	総合	「じっけった」ってなあに－ふるさとのことばを調べよう－	あなたの地域の方言を調べたり、ちがう土地の方言とくらべたりしてみよう。	★『日本の方言大研究6 なるほど方言学入門』佐藤亮一／文 間宮研二／絵 ポプラ社 ★『おもしろ国語ゼミナール4 全国方言たんけん』山口一夫／著 ポプラ社 ★『方言と地図 あったかい47都道府県の言葉』井上史雄／監修 フレーベル館
	社会	くらしをささえる水と電気	ダムと水の関係や、水を上手に使うための取り組みについて考えてみよう	★『「資源」の本 1: 水資源をかんがえる』岩田 一彦／監修 岩崎書店
	社会	生まれかわるごみ	くらしの中から出されるごみをへらすための取り組みについて考えてみよう。「容器包装リサイクル法」のマークや、ごみをへらすための「3R」についても考えてみよう。	★『記号のポケット図鑑2』村越愛策／監修 あかね書房 ★『最新記号の図鑑1～3』村越愛策／監修 あかね書房 ★『いのちを学ぶ環境学習 ゴミをへらす3つの「Re(リ)」』金子美智雄／監修 ほるぷ出版
	理科	モーターを回して進ませよう～電気のはたらきを考えよう～	乾電池や光電池のしくみや電気のはたらきについて考えよう。	★『ガリレオ工房のおもしろ実験クラブ11: 生かそう! 太陽エネルギー』大山光晴／文 ポプラ社 ★『わくわく・びっくりサイエンス教室 小学校4年生』山崎健一／著 国土社
	理科	夏の夜空をながめよう～月の動きと夏の星～	月の動きの満ち欠けやペルセウスぞ流星ぐん、夏の大三角(ベガ、デネブ、アルタイル)を観察してみよう。7月22日の部分日食を観察したり、「世界天文年」のもおしに参加してみよう。	★『天体観測100年絵事典』渡辺潤一／監修 PHP研究所 ※浄土平天文台(福島市)・星の村天文台(田村郡滝根町)・鹿角平天文台(東白川郡鮫川村)・こむこむ(福島市)などの天文台をたずねてみましょう
	国語	めざせ! 新聞記者	夏休みの体験をもとに、新聞を作ろう。	★『新聞をつかった総合学習実践集1～5』吉成勝好／監修 岩崎書店
	国語	「青い光のひみつ」	内容を正しく読み取ろう。	「青い光のひみつ」 出典: 『青いひかりのひみつ』松岡洋子／著 北隆館 より
	国語	「魔法」	様子を思いうかべながら読もう。	「魔法」坪田 譲治/作 出典:『名作選「魔法」』小峰書店より ★『赤い鳥2年生』赤い鳥の会／編 小峰書店
5年	国語	「目玉の化け物」－岩瀬地方のお話－	使われている方言を声に出したり、書き出したりしてみよう。家の人たちに読んで聞かせてあげましょう。絵本や紙しばいするのも楽しそうです。	「目玉の化け物」 出典: 『福島のみかし話』福島県国語教育研究会／編 日本標準 より
	総合	ふるさとの「みち」ウォーキング	2004年「美しい日本の歩きたくなるみち」に福島県から選ばれた10ヶ所の道を歩いてみませんか。	参考HP: 社団法人日本ウォーキング協会 http://www.walking.or.jp/arukitai/tohoku.htm ★『福島県万能地図』福島民報社 2006年発行
	総合	残したいふるさとのスケッチ	身近な生きものやすてきだと思う建物などをあなたの手でスケッチして記録に残してみませんか。はがきを使えば暑中見舞いも出せますね。	「かすみ 慈愛」(版画) 斎藤 清／作 ★『小学生のための絵手紙入門1～3』高村 忠範／文・イラスト 汐文社
	総合	あなたのまちのシンボルは ～知っているかな? 市町村のマークや花・木・鳥～	あなたのまちのマーク、花・木・鳥を調べてかこう。	参考: 福島県・市町村要覧 http://www.fksm.jp/youran/survey.html ★『みんゆうデータブック』福島民友新聞社 ★『民報年鑑』福島民報社
	社会	ふりかえり問題 4年社会科	わたしたちの郷土・福島県について教科書や地図帳を見ながら、たしかめましょう。	★『日本の地理10 都道府県大図解: 日本の国土と産業』井田仁康／監修 学研 ★『福島県勢要覧』福島県
	社会	日本水産業の特色を考えよう	資料を見て、日本の水産業についてまとめよう。	★R『日本の農業』(ポプラディア情報館) ポプラ社 ★R『日本の水産業』(ポプラディア情報館) ★『グラフで調べる日本の産業3～4』谷川彰英／監修 小峰書店
	社会	日本のくだものづくりについて考えよう	りんごとみかんの生産量やくだもの輸出・輸入について考えよう。	
	社会	福島県の農業の特色は何だろう?	福島県の農業の特色について調べよう。人や環境にやさしい農産物マークを探してみよう。	参考出典: 『図説福島の農林水産業』東北農政局福島農政事務所／編
	理科	4年のふりかえり問題	夏のキャンプの様子を見ながら「水のすがたとゆくえ」「もののあたたまりかた」について答えましょう。	★『もののあたたまりかた』小島俊子／著 ポプラ社 ★『すがたをかえるしずくのふしぎ』七尾 純／著 国土社 ★『氷・水・水じょう気』小島俊子／著 ポプラ社 ★『なんでも実験ためして発見6』松原静郎／監修 フレーベル館
	理科	種子の発芽の条件を調べよう	発芽の条件をさぐろう	★『植物のそだちかた』小林道正／著 ポプラ社 ★『植物のふしぎ: 成長のひみつ』江本濠子／著 講談社
5年	理科	魚と人の成長をさぐろう～生命のたんじょう～	魚と人の成長の仕方を比べてみよう。	★『小さないのち』佐々木 崑／文・写真 フレーベル館★『赤ちゃんが生まれる』北村邦夫／監修 金の星社
	国語	「みんなのくらしを便利に」	作者が言いたいことを考えながら、内容を正しく読み取ろう。	参考文献: 『ユニバーサルデザインってなに?』成松一郎／文 あかね書房
	国語	「とびこめ」	場面の様子や、登場人物の気持ちを想像しながら読み取ろう。	「とびこめ」 出典: トルストイ／作 西郷竹彦／訳 光村図書出版 『光村ライブラリー6』より
	総合	「おい 雲よ」－山村暮鳥－	声に出して味わいながら読んでみよう。	「雲」「おなじく」「ある時」「岬」「りんご」「日向の林檎/ある時」 出典: 『山村暮鳥全集第一巻』筑摩書房より

6年	総合	ふるさと再発見	身近な地域の人物や行事、食べ物、自然、建物など、あなたのふるさとで自慢できることを調べてみましょう。	参考:本の森へのみちしるべ 児童5 郷土ふくしまを知る子どもの本 歴史・人物編 児童7 郷土ふくしまを知る子どもの本 風土・自然編 http://www.library.fks.ed.jp/ippan/home/honnomori/honnomori-jido.html ★『福島県民百科』福島民友新聞社 ★『福島大百科事典』福島民報社 ★『ふくしまの歴史と文化の回廊集』福島県教育委員会 ★『福島県の歴史散歩』山川出版社 2007年発行
	総合	福島のお城や館	みなさんの地域の城や館のあとを調べたりたずねたりしてみよう。	「主要街道と宿駅」出典:福島民報社「ふくしま紀行 城と館」 (手引きの解説の出典:河出書房新社『図説 福島県の歴史』 参考:福島県教育委員会『歴史の道』、角川書店『日本地理大辞典7』など)★『ふくしまの城』鈴木啓／著 歴史春秋出版 ★『福島県の中世城館跡』福島県教育委員会
	総合	こんな日本地図はどうかー自分だけの日本地図を作ろうー	テレビや新聞、インターネットや事典などで情報を集めて作ってみましょう。 テーマ例)「昔話」「文化財」「料理」「県のマークや花・鳥」「民謡」「歴史上の人物」「祭り」	★R『ジュニア地図帳 こども日本の旅 新訂第6版』高木実／構成・文 平凡社 ★『読んで見て楽しむ日本地図帳』井田仁康／監修 学研 ★『なんでも日本地図』永井政直／監修 大日本図書
	理科	地球温暖化が止まらない～今、わたしたちにできること～	地球の温暖化は、全世界の人々が今すぐ考え実行しなくてはならない、深刻な問題です。図書館やインターネットで調べたり、家の人と一緒に考えて行動に移しましょう。	参考:『IPCC第4次報告書:気象庁のHPから閲覧可』 ※環境省HPのこどものページhttp://www.env.go.jp/kids/02.htmlも参考にしてみましょう。 ★『ぼくたち・わたしたちの地球温暖化問題』ローリー・デイヴィッドほか／著 小学館 ★『地球SOS図鑑』地球環境研究センター／監修 PHP
	国語	「ガラパゴスの自然と生物」	事例や筆者の考えを正しく読み取ろう。	「ガラパゴスの自然と生物」伊藤秀三／作 出典:『平成12年度 光村図書 国語教科書6年上』より
	国語	環境問題について意見文を書こう	自然や身の回りの環境やリサイクルについて、自分が行ったり、調べたりした事実や経験をもとに、意見文を書こう。	参考:『意見文・説明文を書こう』田中耕一郎ほか／著 国土社 ★『13歳からの「環境問題」入門』吉田祐夫／著 かんき出版
	国語	「との様の茶わん」	場面の様子や、登場人物の気持ちを考えながら読み取ろう。	「との様の茶わん」小川未明／作 出典:光村図書出版『光村ライブラリー15』より ★小川未明／著 世界文化社『小川未明童話集 心に残るロングセラー名作10話』
	総合	牛	詩を声に出してゆっくりと読んでみましょう。	「牛」高村光太郎／作 出典:岩波文庫『高村光太郎詩集』より

中学校				
学年	教科	タイトル	内容	参考情報等
1年	詩	青空	詩の鑑賞	「青空」高階紀一／作 出典:大日本図書『空への質問』より
	技術・家庭	空き缶ランタン	キャンプなどに使うランタン。デザインを工夫して世界で1つのものを作ってみよう。	★『かんやはこで作るくふう』堂本 保／著 誠文堂新光社
		福島県の郷土料理や特産品を味わい、地域の良さを実感しよう	それぞれの地域の料理への思いや願いを意識し、調理してみよう。家族にその料理の思い出を聞いてみよう。	★『「食」ふくしま新ふーど記』福島民友新聞社 ★『わかりやすくだれにでも絵をみてくれる福島の味』福島県農友会
	美術	自然は造形の神様！葉の形の不思議にふれよう	気に入った葉をつんできて、貼り付けたり、形をなぞったり、スケッチしよう。	★『子どものための美術画法1』アトリエ・ワン／編 大月書店
	音楽	あっ！笛や太鼓の音が聞こえてくる…そうだ！今日はお祭りだ！！	あなたが出かけてきた夏祭りについて使われている楽器、お祭の由来、どんなことを感じたかをレポートにまとめてみよう。	★『日本の伝統芸能:日本の音と楽器』小柴はるみ／著 小峰書店 ★『ぼくらの町のまつりと行事2:東北地方』渡辺一夫／著 福武書店
	保健体育	タオルを使って体力づくりをしよう	タオルが1本あればどんな場所でもトレーニングできます。大切なことは少しずつでも続けること。簡単トレーニングで体力をつけよう。	★大月書店『スポーツを科学する3:トレーニングに科学を！』
	理科	研究室 備えあれば憂いなし！	地震が発生したらどうすればよいかわかるように調べてみよう。	★『みてわかる 災害にそなえる本2 地震にそなえる』秋山滋／文 岩崎書店 ★『こども地震サバイバルマニュアル』国崎信江／著 ポプラ社
	国語	実力テスト	詩の鑑賞	「雑草」北川冬彦／作 出典:『北川冬彦詩集』沖積舎 より
	国語	実力テスト	説明的文章の読解	出典:『食べ物と自然の秘密』西谷 大／著 小峰書店 より
	国語	国語四	語句の学習	出典:『カプトガニからのメッセージ』物路紀通／著 文研出版 より
	国語	国語三	詩を読もう	「私は青年が好きだ」出典:『高村光太郎全集 第2巻』高村光太郎／著 筑摩書房より
	国語	国語二	説明文を読もう	出典:『甦れ、ブッポウソウ』中村浩志／著 山と溪谷社より
	国語	国語一	随筆を読もう	出典:『思い出して使ってみたい美しい日本語』大島清／著 新講社 より
1年	読書室	新聞少年の歌	夏休みこそ読書に親しもう。	「新聞少年の歌」出典:辻仁成／著 新潮文庫『そこに僕はいた』より 紹介されている本:『白い手』椎名 誠(集英社文庫)、『少年』ビートたけし(新潮文庫)、『日曜日の夕刊』重松清(新潮文庫)、『高円寺純情商店街』ねじめ正一(新潮文庫)、『峰雲へ』阿部夏丸(小学館)

	裏表紙	昭和の時代に会いにいこう！	昭和30年代は、モノに頼らない、人と人のあたたかい心の絆があり、人々のエネルギーがあふれていました。身近な人から当時の話を聞いたり、この時代に会いに行ってはいかがでしょうか。	※ふれあい歴史館(福島市)、まほろん(白河市)に行って体験してみましょう。 ★『くらべてみよう昭和のくらし1～5』新田太郎／監修 学研
2年	詩	忘れ物	詩の鑑賞	「忘れ物」 出典:『続月曜日の詩集』高田敏子／作 日本図書センター より (※ポプラ社『詩の世界』にも入っています)
	技術・家庭	パソコンでオリジナルTシャツ	パソコンに入っているペイントソフトを使ってさまざまな小物を作ろう。	★『パソコンで楽しい総合学習5 絵をかこう』苅宿 俊文／文 偕成社
		涼しい風を運んでくれる！モビール	材料や形を工夫しオリジナルモビールを作ろう	★『ゆらゆら・アート「モビール」をつくる』内藤英治／著 誠文堂新光社
	音楽	音楽の力ってすごい！！	音楽は沈んだ心を力づけてくれるなど、私たちの心に直接訴えかけてくるものです。その効果は、音楽療法や動植物の栽培・飼育などにも利用されています。夏休みを利用して名曲として愛され続けた多くの曲をじっくりと鑑賞してみよう。また、有名な作曲家の生誕記念年でもあります。コンサートや番組で特集が組まれるかもしれません。	★『知ってるようで知らない「音」のおもしろ雑学事典』『音』雑学研究会／著 ヤマハミュージックメディア 紹介されている作曲家:メンデルスゾーン(生誕200年)、レスピーギ(生誕130年)、ムソルグスキー(生誕170年)
	保健体育	スタビライゼーション	体の神経と筋肉のつながりを高めるトレーニングのひとつにスタビライゼーションがあります。体のバランスを保つ能力を高めたり、関節の動きを広めたりするほか、疲労回復やけがからの回復を早める効果もあります。	★『スポーツを科学する3 トレーニングに科学を！』大月書店 ★『スポーツを得意にする方法3』大沢清二／監修 教育画劇
	理科	研究室 天気って不思議！？	気象の状態を表すための「気象要素」の意味を学習すると次の日の天気を予報することができます。下の3日間の天気図について考え、4日目の天気を予想してみましょう。	★『お天気ナビ観察じてん』 武田康男／監修 大泉書店
			次のような天気に関する古くからの言い伝えを調べて、なぜそのように言われているかも考えてみよう。「ツバメが低く飛ぶと雨」「クモが巣をはれば雨があがる」「スズメが鳴きだせば雨はやむ」	ほかに「朝焼けは雨、夕焼けは晴れ」「鐘の音がよく聞こえると雨」「太陽や月が笠をかぶると雨」「ひつじ雲が出ると翌日は雨」など ★『おもしろ！なっとく！なぜなぜ大事典10』学研 ★『天気予知ことわざ辞典』大後美保／編 東京堂出版
	国語	実力テスト	詩の鑑賞	「冬が来た」高村光太郎／作 出典:『少年少女のための日本名詩選集3』 あすなろ書房 より (※童話屋『ポケット詩集』にも入っています)
			説明的文章の読解	出典:『音声言語とコミュニケーション』播磨桂子／著 双文社出版 より
	国語	国語四	随想文を読む	出典:『ことばへの旅3』森本哲郎／著 角川文庫 (絶版)より(※PHP文庫より『ことばへの旅上・下』として出版)
	国語	国語三	小説を読む	出典:『少年たちの夏』横山充男／著 ポプラ社 より
	国語	国語二	詩を読む	「すべり台」 出典:『リ・ラ・ク・ゼ・ム こころの深呼吸』服部ひでこ／著 KKベストセラーズ(現在絶版)より
	国語	国語一	論説文を読む	「古風堂々数学者」 出典:『古風堂々数学者』 藤原正彦／著 新潮社(新潮社文庫)より
	読書室	卒業ホームラン	素敵な『本』との出会いがあなたの人生を豊かにし、世界を広げてくれます。そんな素敵な『本』との出会いをしてみませんか。	「卒業ホームラン」 出典:『日曜日の夕刊』重松清／著 毎日新聞社より(新潮文庫からも出版されています) 紹介されている本:『銀河鉄道の夜』宮沢賢治(新潮文庫)、『注文の多い料理店』宮沢賢治(新潮文庫)、『伊豆の踊子』川端康成(新潮文庫)、『流星ワゴン』重松清 (講談社文庫)、『この生命ある限り』大石邦子(講談社文庫)(現在絶版)、『北の国から』倉本聰 理論社、『スローカーブを、もう一球』山際淳司(角川文庫)
	裏表紙	昭和の時代に会いにいこう！	昭和30年代は、モノに頼らない、人と人のあたたかい心の絆があり、人々のエネルギーがあふれていました。身近な人から当時の話を聞いたり、この時代に会いに行ってはいかがでしょうか。	※ふれあい歴史館(福島市)、まほろん(白河市)に行って体験してみましょう。 ★『くらべてみよう昭和のくらし1～5』新田太郎／監修 学研